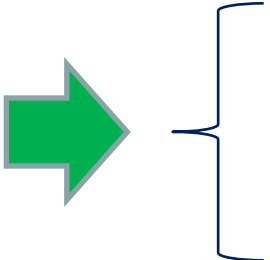


# 政策評価の方法

# 事後評価の具体的な方法

1. ケーススタディ
  2. 前後比較デザイン
  3. 準実験デザイン
  4. ランダム化比較試験
  5. 質的評価（インタビュー、フォーカスグループディスカッション等）
  6. 経済的評価方法：費用効果分析など
- 
- ・事業内容・規模による使い分け
  - ・評価手法の適応の標準化

# 政策評価の流れ

政策目的



インプット(資源の投入)



プロセス(内部活動)



アウトプット(財・サービス)



アウトカム(効果・目的達成)

・それぞれを混同しないことが重要

# 政策評価の主体

1. 内部評価：施策等を担当する行政機関によるもの  
→ 施策は熟知、客観性低い
2. 準内部評価：総務省行政評価局等による省庁横断的なもの
3. 外部評価：当該行政機関以外によるもの  
(第三者機関、会計検査院、市民団体等)  
→ 客観性高い、施策の理解が不足しがち

# 地域保健活動の評価(検討事項)

- 誰が(国、都道府県、保健所、市町村)、
- 何の目的で、
- 誰に対して、
- 何について、
- どのような手法を用いて、
- どのような仕組み・枠組みで行うのか  
そして、
- その結果をどうまとめ、
- どう生かすのか